

# 2019（平成31）年度 第1回 手話通訳士現任研修【人権と医療】

## 開催要項

### <厚生労働省委託事業>

#### 1. 目的

手話通訳士に対し、司法や高等教育機関等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面での確かな手話通訳ができるよう資質の向上を図ることで、手話通訳者の更なる社会参加に寄与することを目的とする。

#### 2. 実施主体

社会福祉法人 全国手話研修センター

#### 3. 内容

●テーマ 「人権と医療」

●時間

5月18日（土） 10：00～10：30 受付・オリエンテーション  
10：30～17：50 研修  
19日（日） 9：30～19：00 研修  
20日（月） 9：30～14：30 研修  
14：30～15：00 修了式

上記時間の研修には、講義（2時間×5コマ）、実技（2時間×4コマ）が入ります。

●カリキュラム内容

【講義研修】医療制度、通訳倫理、ろう者の医療権、薬に関する基礎知識、インフォームドコンセント（病院設置通訳者）

【実技研修】医療現場に必要な通訳実技

※全て集合研修として実施いたします。

●自宅研修（レポート課題）

裏面参照

※カリキュラム内容および研修時間は都合により変更となる場合があります。講師等の詳細は決定通知でお知らせいたします。また、研修センターのホームページでも随時お知らせして参ります。

#### 4. 開催日時・会場

日程	2019（平成31）年5月18日（土）～20日（月）
会場	社会福祉法人全国手話研修センター（ホテルビナリオ嵯峨嵐山） 〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

※上記の他に1日、自宅研修（レポート課題）がカリキュラムに含まれます。

## 5. 定員

30名

## 6. 研修費用

5,000円

※現地までの交通機関、宿泊は各自にてお早めに手配していただきますようお願いします。

## 7. 対象者

- ①手話通訳士の資格を有する方
- ②都道府県・政令指定都市・中核市・市町村障害保健福祉主管課長の推薦する手話通訳士の方

## 8. 申込み条件

4日間のカリキュラムをすべて受講できる方

## 9. 申込み方法と締切日

締切日 4月5日(金) 申込書締切(自治体宛)

4月15日(月) 推薦書締切(研修センター宛)

受講希望者は、別紙受講申込書を記入し、日頃通訳活動をしている都道府県・政令指定都市・中核市・市町村障害保健福祉主管課あてに、必着でお申込みください。

行政担当者は、センター締切日までに申込書を集約し、推薦書と申込書を送付ください。

※様式はホームページからもダウンロードできます。

## 10. 受講決定

申込者の中から選考の上、下記の日程で都道府県・政令指定都市・中核市・市町村障害保健福祉主管課及び本人あてに通知します。(4月19日(金) 頃)

## 11. 受講修了条件

4日間のカリキュラムを全て受講した者

## 12. お支払方法

当日現金払い。

※お振込みを希望される方につきましては、決定通知で詳細をご連絡いたします。

## 13. お問い合わせ

社会福祉法人全国手話研修センター人材養成課

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

TEL : 075-873-2646 / FAX : 075-873-2647 / E-mail : [jinzai2@com-sagano.com](mailto:jinzai2@com-sagano.com)



<ホームページ>

社会福祉法人全国手話研修センター

(<http://www.com-sagano.com/>)

<2019 年度自宅学習内容>

様式は問いません。ページ番号と、すべてのページにレポート作成者の名前を記載すること。課題は印刷し、研修当日にお持ちください。なお、レポートは、研修会でレポート発表・集団討議に活用します。

<課題>

次の図は、「専門職としての手話通訳者教育」を構造化したものです。1 階は、一般常識、諸科学の基礎的な知識、2 階は、手話通訳の専門知識・専門技術、3 階は、手話通訳者の倫理となっています。医療における手話通訳に求められる「力」を各階ごとに考察し1200字程度でまとめてください。

図4-1 手話通訳者教育の理論的枠組み

(手話を学ぶ人の「手話通訳学」入門 改訂版 林智樹著 クリエイツかもがわ P89 より)

